

1. 教育計画

母性看護学

分野	専門分野 母性看護学	科目名	子どもを産み育てることⅠ
単位・時間	1単位・30時間	対象学年	3年生
方法	講義	時期	前期
講師名 (担当授業時間数)	法人講師 千葉 瑞穂 (14時間) 法人講師 齋藤 幸恵 (14時間)		
学習目標	1. 正常な妊娠・分娩・産褥の生理を理解し、各期に必要な看護を学ぶ 2. 新生児の生理を理解し、必要な看護を学ぶ		
成績評価方法	筆記試験		
使用テキスト	医学書院：母性看護学(2) 母性看護学各論 インターメディカ：写真でわかる母性看護技術 照林社：パーフェクト臨床実習ガイド 母性看護		
参考文献			
履修上の留意	<ul style="list-style-type: none"> 提出物は提出期限を厳守すること。 受験資格：規定時間の講義への出席 		
講師からの メッセージ	妊娠・出産は新しい命を迎えるスタートです。妊娠から分娩を学ぶことで女性が母親になっていく過程を学びましょう。また、育児のスタートが素晴らしいものになるようサポートするのが、母性看護の醍醐味です。産褥・新生児期を学び、育児のサポートについて一緒に考えましょう。		

2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1	2	I.妊娠期の生理と経過	妊娠とは 妊娠の成立 胎児の発育 胎児付属物	講義	千葉
2	2	II.妊娠期の看護	妊婦の身体的・心理的变化 日常生活の変化と援助 マイナートラブルに対する援助	講義	千葉
3	2		母親役割取得過程	講義	千葉
4	2		妊婦健診 診察時における援助技術 乳房ケア・セルフケア	講義	千葉
5	2	III.分娩期の生理と経過	分娩のメカニズム 分娩の経過	講義	千葉
6	2	IV.分娩期の看護	産婦の心理状況 産痛緩和	講義	千葉
7	2	V.分娩期の看護	子宮収縮を促進するための援助 家族への援助	講義	千葉

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
8	2	VI. 産褥期の生理と経過	産褥期の身体的変化 子宮復古と悪露の変化 心理・社会的変化	講義	齋藤
9	2	VII. 産褥期の看護	褥婦の身体的変化に対する援助 親としての適応過程への援助	講義	齋藤
10	2	VIII. 新生児の生理と看護	胎外生活への適応過程 新生児の生理的变化・身体的特徴	講義	齋藤
11	2		出生直後の援助 新生児の観察	講義	齋藤
12	2	IX. 母乳育児支援	母乳分泌のメカニズム 母乳育児の理解・諸問題 母乳育児の実際	講義	齋藤
13	2	XI. 家族関係構築への支援と 母子保健活動	退院後の生活・育児環境 家族関係	講義	齋藤
14	2		家族計画 継続支援の必要性	講義	齋藤
15	2	評価	筆記試験		千葉 齋藤